

ハートケア通信

2025年2月号

発行：2025年2月1日 No. 257
ハートケアグループ
〒583-0021 大阪府藤井寺市御舟町1-63
藤井寺オフィスビル
編集：ハートケア通信編集委員
TEL 072-931-2355
FAX 072-931-2730



門松 (リハビリプラザ桜ヶ丘)



壁面飾り (リハビリプラザ東大阪)



ハートケアのお正月

お正月に合わせて、
華やかな作品を制作しました！



今月の特集
進化する優れた介護機器の導入で、
ご利用者もスタッフも笑顔になれる介護を

壁画 (コンフォート門真)

ハートケアグループ

快適をご利用者に 安心をご家族に since1988

- (株) ハートケアホールディングス
- (株) 大阪ホームケアサービス
- (株) メディケア・リハビリ
- (株) 青蓮荘
- (株) マイオセラピー研究所
- NPO法人 ケア・ユニゾン



https://www.medi-care.co.jp

ハートケアグループ
ホームページ

- ◆ 介護保険ご利用者総数：4992名 (2025年1月1日現在)
【ケアプラン契約数】730名 【訪問介護事業】446名
【通所介護事業】1440名 【訪問看護事業】1905名
【福祉用具レンタル事業】471名
- ◆ 介護保険外ご利用者総数：1540名
【訪問看護事業(医療)】1057名
【訪問介護事業(障害者総合支援)】32名
【個人契約ヘルパー】3名 【有料老人ホーム】415名
- ◆ 住宅改修・福祉用具購入(介護保険内外含む)：8件
- ◆ 障がい児通所支援事業：534名

※上記の数は複数のサービスを利用される方の重複を含みます

◇ ハートケアグループ 職員数：942名

ご利用者虐待防止相談窓口 TEL：072-931-7735 担当：井口

Rehavel 旅通信⑨ 「榊原温泉とお伊勢参り」ツアー

- ### 旅程
- 【1日目】**
10:30 大阪市内の施設を出発
11:30 天理サービスエリア(トイレ休憩)
12:30 伊賀市 伊賀肉ステーキハウス Grazieにて昼食
15:00 榊原温泉 福祉旅館 湯ノ瀬 到着
17:00 入浴介助
18:30 夕食 和食のコース料理 (前菜からデザートまで)
21:00 就寝介助
- 【2日目】**
7:00 起床介助
8:00 朝食
9:15 チェックアウト
10:40 伊勢神宮参拝
12:30 野あそび棚で伊勢名物 昼食 (バリアフリーレストラン)
13:30 おかげ横丁 散策
14:30 出発
16:00 道の駅「針テラス」休憩
18:00 大阪市内の施設に到着



「榊原温泉とお伊勢参り」を特集したことを覚えておられるでしょうか？今回は、このツアーを実際に利用された覚田様のお話です。

旅行のご依頼は覚田様の娘様からでした。覚田様は若いころ、海外旅行に頻繁にいくなどアクティブに動き回っておられたそうです。現在は老人ホームにお住まいで、ご年齢から歩くことが難しくなっていました。娘様にはそんな覚田様に「今の自分でも楽しむ人生を送ることができないんだ！この体でもいいんだ！」と再確認させてあげたいとの思いがあり、Rehavel(リハベル)にご相談してくださりました。

私たちはその思いを受け止め、「榊原温泉とお伊勢参り」を提案しました。催行の約1ヶ月前に、Rehavelのスタッフが、覚田様の身体の状態や普段の過ごし方、旅行に対する想いなどを伺い、その内容を踏まえて旅程を作成しました。

今回は、覚田様と娘様の2人旅です。三重県津市で訪問介護と福祉タクシーを運営されている「株式会社TENNE(テンネ)」へ全面的にサポートをお願いしました。安心して旅行していただけるように覚田様の情報を共有しながら何度も打ち合わせを重ね、旅行当日を迎えました。

1日目の昼食は、覚田様の好物、お肉(伊賀牛)のランチです。伊賀牛は非常に流通の少ない貴重なお肉です。宿泊先の「湯の瀬」では、貸し切り風呂で介助を得ながら安心して入浴していただきました。その後、おいしいコース料理を堪能。午後9時には就寝介助の予定でしたが、覚田様の昔話に花が咲き、就寝が少し遅くなりました(笑)。



2日目はメインのお伊勢参りです。玉砂利でも問題なく走行できる電動の車いすに乗り換えて正宮まで行き、最後の階段は介助がありました。ご自身のお参りもできました。結果は大成功！大満足の旅行となりました。写真からも伝わる通り、旅行ができる喜びを言葉だけでなく、身体でも表現されています。TENNEの介助者の方達のホスピタリティと、普段とは違った環境がご本人にとって特別な時間になったと思います。

覚田様はこの旅行をきっかけに、次の旅行を早速予約されました。覚田様は娘様のおっしゃっていた「今の自分でも楽しむ人生を送ることができるんだ！十分この体でもいいんだ！」という気持ちになられたのだと思います。

皆様もぜひ一度、このツアーを利用してみませんか？今回の旅行を定型のプランとしてご利用できるように致しました。また別途お知らせします！



TEL 0722-199339-12277660
FAX 0722-199339-12277660

有料老人ホーム 空室状況

青蓮荘	満	ケアホーム伊賀	△	ケアホーム長吉	△
コンフォート門真	△	ケアホーム藤井寺	△	ケアホーム加美	△
コンフォート大東	△	ケアホーム寝屋川	満	ケアホーム俊徳道	△

入居相談 お問合せ窓口 0120-974-115 (平日9時~18時) ※空室情報は変動することがあります。

デイサービス 空室状況

リハビリプラザ桜ヶ丘	○	リハビリプラザ小山	○	リハビリプラザ深野	○
リハビリプラザ羽曳野	○	リハビリプラザ守口	○	リハビリプラザ東大阪	△
リハビリプラザ松原	○	リハビリプラザ高槻	○	リハビリプラザなでしこ	○

お問合せ 各デイサービスまでお問合せ下さい。 ※曜日によって空室状況は異なります。空室状況は変動することがありますので、詳しくはお問合せ下さい。 デイサービスホームページ

進化する優れた介護機器の導入で、ご利用者もスタッフも笑顔になれる介護を

今月は、優れた介護機器を取り入れて、ご入居者の褥瘡の進行を食い止め、スタッフの介護負担軽減や効率化にも繋がった、コンフォート大東の嬉しい話のご紹介です。

今回ご紹介するのは、コンフォート大東のオープン当初から入居されているU様です。U様は現在、要介護3で、今年で92歳を迎えられます。うつ血性心不全、アルツハイマー型認知症の他、変形性腰椎症など疾病を多数お持ちで、昨年夏には主治医からご家族への病状説明があり、ご家族もU様の想いを大切にして、今後救急搬送や延命治療をせず、最期までコンフォート大東で自然な日常を過ごせるよう望まれました。



日々の生活

普段から言葉数は少ないですが、職員の声掛けにはうなずいて返答され、いつも穏やかに過ごされているU様。そんなU様のお好きな時間は食事の時間。いつも嬉しそうなお様子で表情にも活気が見られます。ご自分で食べたいという思いも強いので、主治医と栄養摂取状況を観察しながらご自身で食べて食事を楽しんでいただくことにしています。

進行すると痛みを伴い、感染症を引き起こすこともある褥瘡。U様の穏やかな生活のためにも、最新のエアマットレスの導入や職員の全力の褥瘡ケアが実を結び、職員皆が大きな喜びを感じることができました。その後、褥瘡の再発もなく穏やかに過ごされているU様。今後も、U様の想いを大切にして、大東での生活を快適に過ごしていただけるようなサポートを職員皆で続けていきたいとのこと。



新しいエアマットの導入と褥瘡ケアに取り組んだ大崎営業所長より

褥瘡部会でエアマットのメーカーさんからWEBで勉強会をしてもらい、その後、すぐに話を進めようということができました。それまではクッションをつかってU様の安楽な姿勢をキープしようと試行錯誤していましたが、思うようにポジションニングが行えず、クッションを抜かれることもありました。U様がクッションを抜くということはU様にとって安楽ではなかったということなので、エアマットを導入すると、みるみるうちに褥瘡も治癒し本当に安心しましたし、感動しています。今後も、ご利用者に何が必要かを考え、新しいものを知らないまま終わることがないように日々勉強していきたいです。

2年前の冬、食事形態が全粥・ミキサー食になってからも、変わらず食事を残すことなく食べていらつしやいました。が、体重は少しずつ減少して昨年6月には37キロに。それでも主治医の判断では、さほど栄養状態は悪くないとのこと。高カロリーゼリーを試しながら、引き続き介助無しでご自身で食事をされています。

初期の褥瘡の発見

そんなU様に、初期の褥瘡が見つかったのは昨年5月末頃。入浴の際に右臀部に発赤が見つかり、すぐに主治医に往診をお願いすると、塗り薬や保護パットによる褥瘡治療と傷口の圧迫を防ぐための数時間ごとの体位変換に取り掛かることになりました。

褥瘡とは、寝たきりなどで体重や骨が皮膚を圧迫して血流が悪くなり、皮膚が赤くなったり傷ができる状態、いわゆる「床ずれ」で、寝たきりや寝返りがしにくい方、やせ型の高齢者などは発生リスクが高くなります。他にも栄養状態や汗かきの方など布団の中の湿気(蒸れ)など様々な要因が発生原因になることも。痩せているU様は、日常を車椅子で過ごされていることもあり、臀部の皮膚に体圧がかかりすぎたのかもしれない。

優れた介護機器との出会い

当社有料老人ホームでは、褥瘡についての知識を深めるための勉強会「褥瘡部会」を月1回開催しています。その褥瘡部会で、当社の福祉用具レンタルの職員

がメーカーに協力を依頼して、最新のマットレスの紹介を兼ねた勉強会を開催しました。その時紹介されたのが「全自動運転」の床ずれ防止・エアマットレス。ご利用者の身体状態と動きに合わせた体位変換を全て自動で行ってくれる、デジタルテクノロジーが搭載されたエアマットでした。

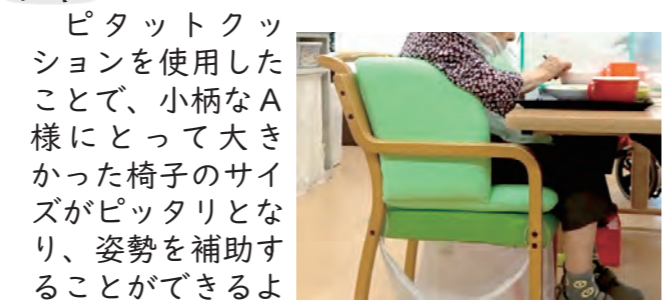
介護の機械化・デジタル化で介護の質の向上と負担軽減を実感

勉強会後すぐに営業所長が話を進め、6月初旬には全自動エアマットレスが導入されることになりました。それにより、U様の体位変換は「全自動運転」エアマットレスに任せることができ、職員の褥瘡ケアは、塗り薬やパット交換などの毎日の処置や観察だけになりました。



営業所長も、体位変換の必要がないことは、職員の負担軽減にはとても大きいし、さらに布団の中の湿度が50%以上になると自動で換気もしてくれるので、汗をかいても褥瘡の大敵である皮膚のムレも防いで睡眠環境も良くなり、睡眠の質も向上したと、最新のエアマットレスの良さ、機械化の良さを実感していました。その後U様は、全自動エアマットレスを導入した一ヶ月後の7月初旬に、無事、主治医から完治の診断を受けられました。

98歳 要介護4
疲れることなく食べることを楽しみたい！
椅子のサイズが合わず、食事での姿勢が保ちにくいA様



ピタットクッションを使用したことで、小柄なA様にとって大きかった椅子のサイズがピッタリとなり、姿勢を補助することができるようになりました。



これまでは身体を支えることに一生懸命になっていましたが、福祉用具により安定したことで食事に集中でき、食欲も出て、食事量も増えました。また、食事で疲れ

ことなくゆっくりと召し上がった時間となりました。

ハートケアのやさしい介護

有料老人ホームの取り組み

取り組み例② 福祉用具の活用

このコーナーでは、ご入居者お一人おひとりの生活がより安全で快適なものになるように、有料老人ホームでの取り組みを紹介しています。前回に続き今回も、『ご入居者の食生活の改善、楽しみのある食事』のための誤嚥脱水防止委員会での取り組みを事例で紹介いたします。

小柄で変形性腰椎症のA様。ご高齢でもあり上半身を支える力も弱く、普段の生活でもご自身の体を支えることで精いっぱい様子でした。食事でも正しい姿勢が保ちにくく、傾きや姿勢の崩れ、疲れも見られ、食欲も低下気味で、誤嚥脱水委員会で検討することになりました。その結果、福祉用具のピタットクッションの使用を提案することに。

ヘルパーステーション メディケア・リハビリ

2025年2月1日オープン!

デイセンターリハビリプラザ深野の2階に、新しくヘルパーステーションがオープンしました!

〒574-0072
大東市深野 5-3-22 2階
TEL: 072-875-2525

